

した対応策を検討したい。内任率を高める取り組み<その他の質問> 職員の市 について

精神障がい者支援のため 総合的な施策を展開せよ



日本共産党 西尾 勝彦 議員

議員 失業・貧困問題等によるストレス社会の進行に伴い、精神障がい、精神疾患のある人が増加する傾向にある。今後の対応を伺う。
市長 今後は相談を待つだけではなく、アウトリーチしていききたい。訪問等をする中で潜在的な課題を顕在化して丁寧に対応したい。

健康福祉部長 関係機関のネットワークによる支援強化で地域生活を支える仕組みづくりに取り組みたい。
議員 改正障害者総合支援法は、いわゆる「基本合意」と「骨格提言」に基づいた改正とは言えないものだ。今後の施策の方向性を伺う。
市長 法改正に基礎自治体として適切に対応することで、障がい福祉サービスの更なる充実につなげたい。

児童保育所入所受付事務を 市民の目線から改善せよ



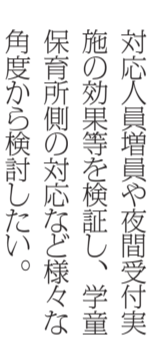
日本共産党 栗原 健治 議員

議員 毎年、児童保育所の次年度の入所申請期間には定員の1千200人を超える保護者が来庁する。申請者は共働きのため、申請は土・日曜日に集中し、平日は休暇や昼休みなど貴重な時間を割くことが多い。例年、受付の順番を待つ間に列を離れられず大変だという声を聞く。受付番号札を発行

するとはできないのか。
市長 保護者に配慮した窓口の設置方法を工夫する。
議員 初めて申請する新1年生の保護者は、入所要件についてなどゆくり相談したい場合もあり、継続で申請する2、3年生の保護者とは対応にかかる時間が違う。相談者のプライバシー保護の観点からも、受付

と別に相談窓口を設置した方がよいのではないかと。<その他の質問> 子どもの政策部調整担当部長 付けれられないのか。<その他の質問> 投票率の向上について/三鷹通りの三鷹市役所前交差点から大

共産党市議団調査を受け止め 井口グラウンド売却を見直せ



日本共産党 森 徹 議員

議員 共産党市議団が行ったアンケート調査の結果では、井口特設グラウンドの売却について、賛成が9・3、反対が29・1パーセントだった。この市民の判断をどう受け止めているのか。
企画部長 反対意見は常に一定程度あるものと考えている。今後も丁寧で粘り強い説明に努めていきたい。
議員 売却に伴う説明は、グラウンドの周辺地域の住民だけではなく、全市民に行うべきではないか。
市長 繰り返し広報で説明するとともに、第4次基本計画で売却の方針を、基本計画第1次改定で売却延期の方針を示している。

議員 回答者の約4割がグラウンドの売却計画を知らない、わからないとの回答だと認識している。
議員 市は東京むさし農業協同組合と学校給食における市内産野菜活用推進に関する協定を締結し、本年1月、連絡協議会を開催した。具体的な協議内容を伺う。

議員 介護の人手不足が深刻化し、利用者が必要なサービスを受けられない、事業者もサービスを提供しにくくできないといった問題が起きている。本市の介護保険施設における人手不足の現状を伺う。
市長 サービスの縮小に至るような事例は発生していないが、今後も関係機関と連携し、人材確保に努める。
議員 介護保険制度における加算額算定の基準となる地域区分は、隣接する市区と比べ三鷹市は低く、地域の状況と整合しない。今後の国への働きかけを伺う。
市長 納得できない数値が続いており、平成26年から人事院総裁や厚生労働省に對して問題提起している。引き続き要望を続ける。
議員 介護職員の負担を減らすため、元気な高齢者に介護助手として働いてもらう方法がある。所見を伺う。
健康福祉部長 みたかふれあい支援員の養成をして、身体介護は行わず、家事援助に特化させ、元氣高齢者が取り組みやすい制度として力を入れている。
議員 地域包括ケアシステムに24時間訪問介護を取り込むなど、安心して在宅で介護サービスを受けられる環境づくりが必要だ。現状と今後の課題を伺う。
市長 三鷹市内では一事業者が実施している。更に充実したサービスを提供するには、介護職員と看護師が確保されなくてはならない。国家を挙げて人材育成に努めるよう提起したい。

未来を担う子どもたちのため 学校給食の市内産野菜拡大を



自由民主クラブ 加藤 浩司 議員

議員 学校給食において市内産野菜を利用する効果として、安全・安心な給食の提供、食育への活用等があげられている。本市で市内産野菜の利用率が向上しない現状と方策について伺う。
教育長 朝の限られた時間での協力農家による直接配送や、必要量の確保等の課題がある。東京むさし農業協同組合と連携し、集約や配送システムの新たな構築が効果的だと考えている。
議員 市は東京むさし農業協同組合と学校給食における市内産野菜活用推進に関する協定を締結し、本年1月、連絡協議会を開催した。具体的な協議内容を伺う。
市長 一定の量が必要な給食の食材提供目的に絞った

変遷する技術や価値観に合わせた道路行政の推進を



自由民主クラブ 渥美 典尚 議員

議員 道路舗装については、近年、アスファルトに比べて耐久性や環境負荷低減等の面で優れているコンクリート舗装が見直されている。市道への採用についての考え方を伺う。
市長 コストや養生期間等を総合的に判断し、本市では、車道部は主にアスファルト舗装を採用している。議員 市は道路点検用の自動車でも道のパトロールを実施している。従事者数や巡回頻度等、現況を伺う。
市長 2名が乗車し、おおむね月に2回程度は全ての道路を確認している。
議員 ICT技術を使った道路パトロールシステムは省力化と合理化に大変有効と考える。ICT機器の導入について、所見を伺う。

日本人の死生観に沿った 高齢者施策の展開を



自由民主クラブ 宍戸 治重 議員

議員 核家族化、単身世帯の増加など社会構造が変化している中、終末期医療や看取りについて必要性や意義が問われている。人間誰にとっても死に至る時間の生き方は重要なテーマだ。日本人の死生観が変化する中で、今後の施策の展開を伺う。
市長 できる限り、本人の

が有意義だと考えている。<その他の質問> 「三鷹台駅前通り」について
市長 今後、様々な可能性を検証しつつ、有効性について確認していきたい。
議員 駅前など来訪者が多く通る場所を石畳等独自の歩道舗装にして、観光振興につなげてはどうか。
都市整備部調整担当部長 足跡が描いてあるタイルの使用等、観光の視点で工夫した実績もある。今後も地域特性を考慮しつつ、適切な舗装材を採用していく。
議員 マンホールのふたは、遠方から訪ね歩くマニアが大勢おり、観光振興に役立つと考える。デザインや色彩がされたマンホールふたの導入について伺う。
都市整備部調整担当部長 今後、費用や安全性、維持管理面を踏まえながら、研究していきたい。